

# 進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は  ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	社会学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.4 成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）
小項目	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）（専門）

## II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。  
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。  
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。  
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学生の到達度を検証するための調査手法を開発する	→調査手法の企画・開発、全学への提言など	D	C	/	/	/
2. 学生全体の到達度を検証し、必要に応じた教育内容・方法の改善を行う	→FD研修会の実施回数	B	B	/	/	/
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

### 《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目6.4.1	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。 (説明) 本学部の理想とするLearning Outcomesを操作的に定義したうえで、それを測定するための指標を策定するべく、検討を進めた。
☆ 小項目6.4.2	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。 (説明) 教員の研究能力向上の一環として、プレゼンテーションを相互評価する「社会学部研究会」（4回）、各教員が教育上の課題を話し合い、教育情報を交換するための「学部懇談会」（1回）、「人権問題研修会」（3回）を開催した。
その他	

### 《評価指標データ》

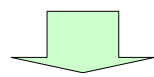
各学部における学生の進路状況  
 一括申請による教職免許状取得件数および取得者実数  
 日本学術振興会特別研究員応募者の有資格者に占める割合  
 在学生のうち「この大学で人生の一時期を過ごすことが、将来にとって役立つと思う」人の比率  
 修士学位・博士学位・専門職学位の授与数  
 KGPSの修士学位・専門職学位の授与数  
 3年卒業の適用者数  
 ジョイント・ディグリーの授与者数  
 標準修業年限未満の修了者の数

☆ 追加データがあれば追加してください。

## ◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(1)】効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.4.1	
★小項目6.4.2	
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

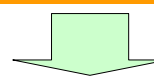
注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.4.1	
★小項目6.4.2	
その他	

## ◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(2)】改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.4.1	
★小項目6.4.2	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.4.1	
★小項目6.4.2	
その他	

## ◎自由記述

【点検・評価】&amp;【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

## Ⅲ. 学内第三者評価

&lt;評価専門委員会の評価&gt;

【学外委員】

- 小項目6.4.2の「現状の説明」は、教育方法等の改善に関する内容ですので、小項目6.3.4に記述するのが適切と思われます。
- 「目標」2の指標「FD研修会の実施回数」も、中項目6.4には対応しないのではないのでしょうか。

【学内委員】

- 学生の到達度を測定するための指標の検討が進められ、進展が見られることは評価できます。成果の上がることが期待されます。
- 学生の到達度を測定するための指標作りに取り組んでいる姿勢は評価できますが、より具体的な指標を作成・公表できるよう一層の努力を望みます。教員の研究・教育能力の向上を目指したFD研修会の開催は計8回行われており、評価できます。今後もより積極的な取り組みを期待します。
- 小項目6.4.2の現状説明は、本項目の説明ではなく、「11 教員・教員組織」での説明内容ではないのでしょうか。もしくは、教育方法の改善を図るためであれば、6.3.4での記述でしょう。本項目は、学位授与が適切に行われているかどうかについての項目です。要素も学位授与基準、学位授与手続きの適切性です。

○昨年度の次のコメントは本年度もそのままコメントとします。

- ・学生の学習成果の測定について検討しているのは、難しい課題であり、評価できます。試行的なものであれ、成果が期待されます。
- ・学生の達成度を評価するための指標作りについては、現時点ではまだ議論中ということです。この点については、できるだけ早く指標作りを完成させる必要があります。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

○小項目6.4.1

基盤評価：なし

達成度評価：「学生の学習成果を測定するための評価指標の開発及び教育内容・方法等の改善への活用に努めている」

○小項目6.4.2

基盤評価：「卒業・修了の要件を明確にし、あらかじめ学生が知ることができる状態にしていること」「学位授与にあたり論文の審査を行う場合にあっては、学位に求める水準を満たす論文であるか否かを審査する基準（学位論文審査基準）を明らかにし、これをあらかじめ学生が知ることができる状態にしていること」

達成度評価：「学位授与方針に従って学位授与を行っている」

#### IV. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ なし